

賀正垂木

ふかたにのぼる
(第7班)

この頃近所で見かけない賀正垂木。

毎年 原板価格、塗料代、型代、人件費が上がって良い値段です。

毎年購入いただくお得意様は「町の人が楽しみにしていてね。大勢の人が正月に家族で写真を撮りに来るんだ。」「やめられないよね」と仰っていました。



この正月飾り、愛知県の製材所で作っています。隣町の印刷屋さんに型板を作ってもらい2名の職さんが丁寧に垂木を並べ、型板を置いて塗料を吹き付けます。白の塗料を乗せるのは大変難しいらしく黒色をまぜて何度も塗り重ねていました。大きさは高さ4m×幅5.8m。SNSの影響で受注が増えているとのこと。今年の売りは「ひだりうま」人が集まり商売繁盛の意味が込められています。

戦後の高度経済成長で忙しい深川の材木屋が掃除まで手が回らずせめて材木に絵を書いて立て掛ければ会社が綺麗に見えると考えたのが始まりだと。是非ご自宅又は貸家の正月飾りに木力とまね木ねっこを添えて深川の街を飾るのも良いかと、神社に奉納するのも縁起が良いかと考えています。神社総代さん宜しくね。